

ドルフィンの損傷調査から補修設計と施工まで

設計・解析技術

海洋工事技術

ICT

リニューアル技術

水域環境技術

河川・湖沼工事技術

お客様のメリット

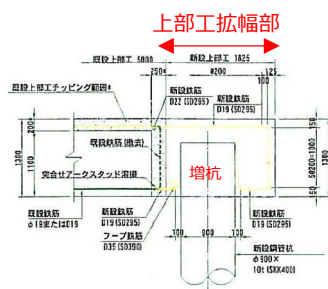
- 損傷により低下した係留施設の耐力の復旧を行うことができます。
- 再利用できる部材の有効活用によりコスト縮減も可能です。

技術の特徴

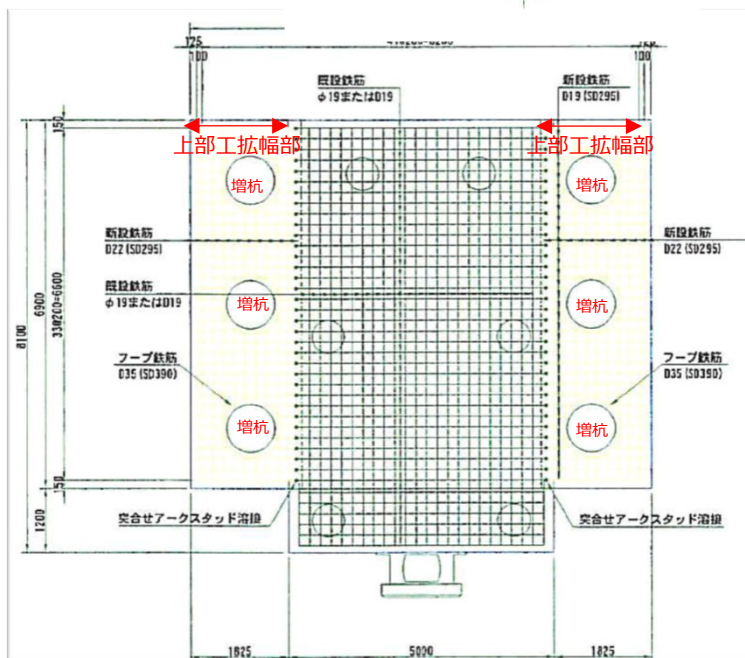
損傷調査により、杭の一部と水平部材の損傷、上部工のひび割れが確認されました。設計業務において、調査結果を踏まえた補修方法を検討・計算し、損傷を受けた杭の耐力を期待せず、新規に杭を打設して必要な耐力を確保する増杭による補修を採用しました。上部工はひび割れの補修を行ったうえで端部を研り、既設鉄筋を撤去したうえで溶接継手を行い、側面の増杭部上を拡幅して一体化する構造としました。



着手前



増杭打設完了



上部工 下側鉄筋平面図



既設上部工 研りだし後、鉄筋接続



上部工配筋完了

実績・事例

工場内ドルフィン補修工事

